

MONSTER TUNE UP CARS

—258km/h.!! おそらく国産チューニングカーの記録だろう。3台のフルチューンカーたち—

チャレンジ・フェアレディZ2.9Q 0~400m 12.49sec



■大阪から参加のチャレンジチューンのモンスターZは0~400m計測で快調に12.49秒を記録したが、240km/h以上が期待された最高速はちょっとしたトラブル(ファンベルト切れ)のため計測できなかった。もちろん、足回りも改良されており、強化サスとカヤバのショックでパワーに対応できる足回りを……。デフは3,900。

スキャット・ビートル 0~400m 14.78sec 最高速 170.41km/h



■アメリカのスキャット社のパーツで固められたモンスター02ビートル。エンジン系統は全面的に手が入られ、推定馬力は150HP!! キャブはウェーバー40のツインで、排気量は2180ccに拡大。街乗りにも十分使え、総改造費用は150万円ほど。オーナーは花前光政氏

交差点GP派から 足回り重視派まで

他人のクルマより速く走りた
い。これはカーマニア共通の望
みである。クルマを便利な道具
だけにとどまらせない人達にと
ってスピードはなににもまして
大切なファクターである。

この「速く走る」というなか
にも実はいろいろあって、ある
人は加速重視で交差点グラン
プリでの圧倒的勝利を目指し、あ
る人はストレートの最高速こそ
醍醐味と思い、そして、本格派
はハイスピードコーナリングに
喜びを見い出す。

各々その目的は異なってもクル
マ好きであることは変わらず、
そして、この人々はいつの時代
にも生産型にあきたりなく、自
分に合った、自分だけのクルマ
を持ちたいと思っているのだ。

きわめて合理化された生産設
備により、安価でそれなりに優
秀なクルマを得られる我々日本
人は幸せであるのだが、こうい
うマニアにとっては国産車は食
い足りないのだろう。

これは日本だけのことではな
く世界中どこでもこういう「好
きな人達」は存在する。アメリ
カではフォードのチューナー、
ホルマン&ムーディをはじめ、あ
のV8を50%もパワーアップす
るメーカーがゴロゴロいるし、
イギリスはチューナー天国とも
いふべき国で、ありとあらゆる
クルマのチューナーがいる。有